

2023 年度新入生対象

## 就実大学・就実短期大学 数理・データサイエンス・AI リテラシープログラム

オンライン授業の科目です。履修方法をしっかり把握してください。生活科学科では必修科目です。

「情報リテラシー」・「数理・データサイエンス基礎」

(生活実践科学科の科目名称「生活実践論Ⅶ(情報)B」「生活実践論Ⅶ(情報)A」)

履修方法について

「就実短期大学 数理・データサイエンス・AI リテラシープログラム」とは

- ・「情報リテラシー」(生活実践科学科の科目名「生活実践論Ⅶ(情報)B」)
- ・「数理・データサイエンス基礎」(生活実践科学科の科目名「生活実践論Ⅶ(情報)A」)

この2科目から構成される教育プログラムです。

現在、社会は「第4次産業革命」「Society 5.0」等のキーワードで表される大きな変化の途上にあり、「数理・データサイエンス・AI」に関する基礎的な素養(リテラシー)は新たな「読み書きそろばん」となりつつあります。政府の「AI戦略2019」でも、大学生・短期大学生が文系・理系を問わず初級レベルの数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な素養を身に付けることを求めています。「就実大学・就実短期大学 数理・データサイエンス・AI リテラシープログラム」は、このような流れの中で、就実大学・就実短期大学で学ぶ学生が、大学・短大で学ぶ上で、あるいは社会で活躍する上で、今後必須となる数理・データサイエンス・AIに関する知識と、それらを活用する基礎的な能力を育成することを目的として、2022年度より新たに設置されたプログラムです。

このプリントでは、「情報リテラシー」・「数理・データサイエンス基礎」(生活実践科学科の科目名称「生活実践論Ⅶ(情報)B」「生活実践論Ⅶ(情報)A」)の履修方法等について説明します。

➤ 科目について

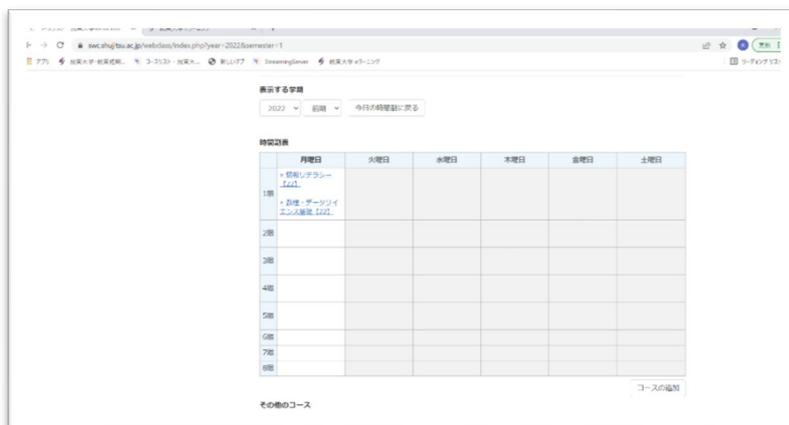
- ① 「情報リテラシー」(「生活実践論Ⅶ(情報)B」)と「数理・データサイエンス基礎」(「生活実践論Ⅶ(情報)A」)は、幼児教育学科の学生は選択科目、生活実践科学科の学生は必修科目(卒業までに必ず修めねばならない科目)になります。大学・短大で学ぶ上で基礎となる知識・能力を養う科目と位置付けられます。
- ② 両科目とも、「オンデマンド型」の授業形態となります。定められた特定の日時に大学の教室で受講するといった通常の科目ではありません。前期中の水曜日5限(16:30～)に本学の Learning Management System (=学修管理システム。通称 LMS。オンライン上で学びを支援するシステムのこと)である「WebClass」に講義動画等がアップされます。皆さんはその講義動画等を自宅や大学にて1週間以内に受講・視聴し、課された課題を WebClass 上で提出してください。水曜5限に便宜上置かれますが、必ずその時間に受講しなければならないわけではありません。水曜5限に別の科目を履修登録することも可能です。
- ③ 講義は「情報リテラシー」(全7回。4月12日(水)～)から開講し、終了後に「数理・データサイエンス基礎」(全8回。6月7日(水)～)が開講します。授業の概略についてはシラバスを参照してください。

➤ 受講の仕方

- ① まずは、WebClass 上の「情報リテラシー」と「数理・データサイエンス基礎」のページにたどりつきましょう(本学 HP⇒「在学生の方」⇒「就実大学 WebClass ログイン画面」)。

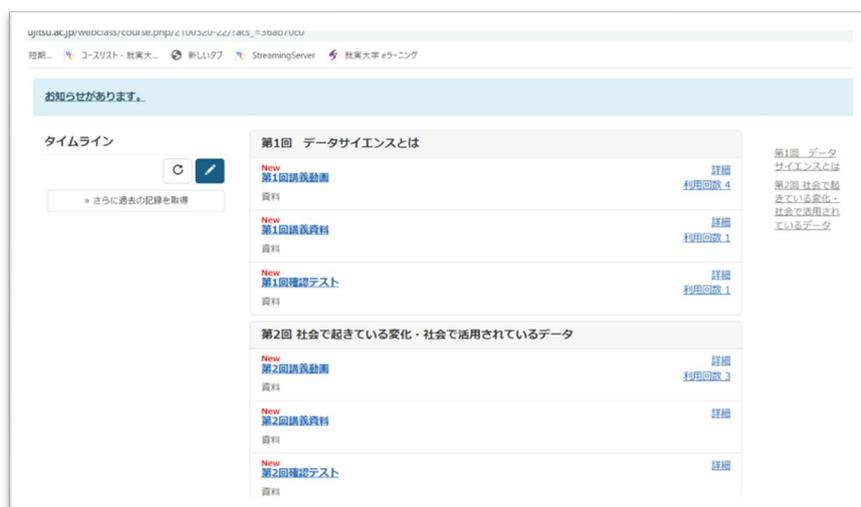


- ② 皆さんの時間割の前期水曜5限の箇所に「情報リテラシー」「数理・データサイエンス基礎」(生活実践科学科の学生は「生活実践論Ⅶ(情報)B」「生活実践論Ⅶ(情報)A」)が置かれています(水曜5限に別の科目を履修している場合は、その科目と並んで表示されます)。そのページに各回の講義動画・課題等があります。講義動画については動画の URL が貼られていますので、クリックして視聴してください。



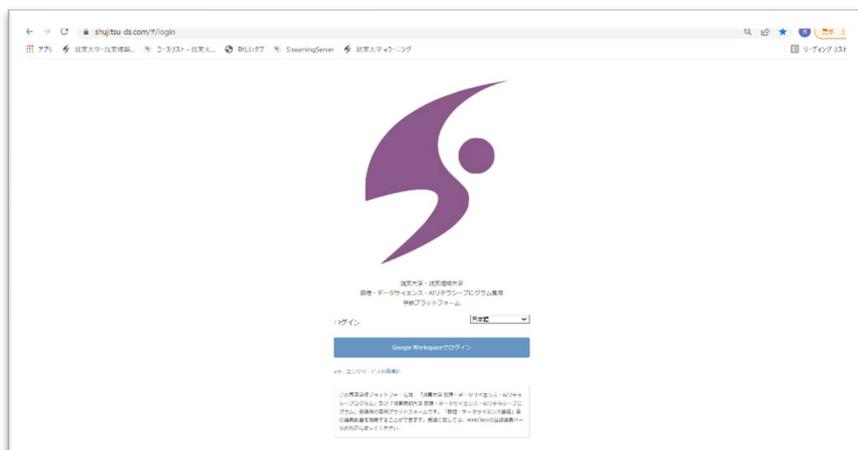
※図では月曜 1 限のところに表示されていますが、皆さんの場合は水曜 5 限に表示されます。

- ③ 「数理・データサイエンス基礎」については「数理・データサイエンス・AI (リテラシーレベル) モデルカリキュラム※」に沿って作成された動画コンテンツを一部利用します。この動画コンテンツは、株式会社NTTデータ経営研究所エグゼクティブ・オフィサー(武蔵野大学国際総合研究所客員教授)の三谷慶一郎先生が講師を務め、「データサイエンス・AI 基礎講座」として有料配信されているものです(本学が利用契約をしていますので、この科目の受講生は無料で利用できます)。この動画コンテンツは、WebClass からリンクが貼られている「就実大学・就実短期大学 数理・データサイエンス・AI リテラシープログラム専用学修プラットフォーム」(以下「学修プラットフォーム」)にて視聴することができます。「情報リテラシー」と同様に、WebClass の「数理・データサイエンス基礎」のページから学修プラットフォームに進み、各回の講義動画を視聴してください。また、学修プラットフォーム上で各回の課題に取り組んでください。



※ 政府の「AI 戦略 2019」(2019 年 6 月策定)を踏まえ、文部科学省より数理及びデータサイエンスに係る教育強化の拠点校として選定された東京大学・京都大学等によって設立された「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」が、各大学等にて参照可能な「モデルカリキュラム」を検討・策定しました。

- ④ こちらが、「就実大学・就実短期大学 数理・データサイエンス・AI リテラシープログラム 専用学修プラットフォーム」の画面です（WebClass よりアクセス可能）。就実大学 Gmail アカウントでログインしている場合は特に認証を求められません。「Google Workspace でログイン」ボタンを押下してください。就実大学 Gmail アカウントでログインしていない場合は、初回に Gmail アカウントでのログインを求められます。ログインすると、各回の講義動画を視聴できるようになります。



➤ 単位認定について

「情報リテラシー」「数理・データサイエンス基礎」の単位の認定（合格・不合格）については以下の通りです。

- ◆ 各回の動画をすべて視聴すること（視聴・未視聴は教員側で確認可能）
- ◆ 各回にて課された課題（確認テストの受検のみの回と、確認テストの受検+演習ファイルの提出の回があります）をすべて完了すること

この2つの条件をとともに満たすことで、その回は合格（受講済み）となります。「情報リテラシー」は全7回中5回合格、「数理・データサイエンス基礎」は全8回中6回合格が単位認定の条件となります。「情報リテラシー」「数理・データサイエンス基礎」とも、未受講（不合格）の回がそれぞれ3回以上ある場合、単位は認定されません。

➤ わからないことがあったときは

授業の内容や動画の視聴方法について、不明点等があれば WebClass のメッセージ機能を使用して連絡をしてください。ただし、メッセージを確認して返信するまでにある程度の時間はかかります（可能な限り 24 時間以内に返信します）。講義視聴期間は限られているので、課題等については早めに取りかかるようにしてください。

また、教育開発センターの学修支援窓口（S 館 1F 就実ラーニングコモンズ（S コモンズ）横）でも質問等を受け付けます。学修支援窓口は、月一金、9：10～17：00 のスケジュールで開いていますが、そのうち水 13：10～17：00 の時間帯は、「情報リテラシー」「数理・データサイエンス基礎」の担当講師の一人が常駐していますので、気軽に質問に来てください。